



「はもネー 100 音楽隊」の皆さん



平成27年8月に軽音楽バンド「はもネー100音楽隊」を結成。社会福祉施設などを慰問し、パーカッションやキーボード、シロフォン(木琴)などを使って、明るく軽快な音楽を演奏されています。

ナイス ひと nice さん 見つけちゃいました!
 ◎今月のいいね

まちの魅力は、そこに住む人の生き方に現れる。『今月のいいね』は、さまざまな分野で活躍中の「まちのひと」を紹介していくコーナーです。



軽音楽バンド「はもネー 100 音楽隊」の皆さんに活動内容などについてお話を伺いました。

■軽音楽バンドを設立した経緯

7年ほど前、老人クラブの行事のときに、メンバー数人が閉校した小学校を訪れた際、音楽室にたくさんの楽器が使われずに置かれていた光景を見て、寂しく感じたのと同時に「楽器がもったいない、何かに使えないだろうか」と思いました。

それから2年後の平成27年2月に新ひだか町福祉センター閉館記念「さよならコンサート」が開かれ、そのとき聴いた全盲の4人組バンドの演奏に深い感銘を覚えました。当時、メンバー全員が、これまで楽器に触れることも、演奏したこともありませんでしたが、その演奏を聴いて「自分たちも高齢で不自由な部分もあるけれど、同じように音楽ができないかな」と仲間同士で呼びかけ意気投合したのがきっかけです。数日後、メンバー数人で教育委員会に「楽器を使わせていただけないか」と相談し、周りの人たちの協力もあって、平成27年の8月に『はもネー100音楽隊』を結成。バンド活動を始めました。

現在は、メンバー8人(平均年齢80.6歳)で週2回(月・金)の練習に励んでいます。



隊長 さいとう じゅんけん 順関さん

聴いてくださる方にも同じように楽しんでもらいたいという気持ちで演奏しています。指導して下さる先生には本当に感謝しています。現在の練習曲がもう少し上手になったら、自分たちのオリジナル曲を作りたいです。

■主な活動

昨年7月から新しい演奏曲として『ブルー・シャトウ』を練習しているほか、『函館の女』や『上を向いて歩こう』など16曲を演奏できるようになりました。

昨年は、社会福祉施設への慰問のほか、芸能まつりなどのイベントで13回演奏を披露することができました。新型コロナの影響はありますが、結成5周年を迎える今年、ぜひ皆さんの前で演奏したいです。

■今後について

「元気をもらった」と応援の声をくださる方もいます。これからも「楽しんで、元気になってもらいたい」という思いを忘れず、平均年齢100歳の音楽隊を目標に、あと20年は続けていきたいです。

第24回新ひだか町老人クラブ連合会・三石支部芸能まつりでの演奏



「はもネー100音楽隊」名前の由縁
 「自分たちの歯も少しずつなくなってきましたが、100歳までを目標に昔のハーモニー(歯もネー)を器楽演奏したい」という思いでメンバー全員で名付けました。